

Versatyle パッケージ

monaqa

2020/2/24

Chapter 1

Versatyle パッケージの概要

Versatyle は、組版用言語 $\text{SATY}\text{SF}_\text{I}$ において汎用的な用途に使える文書クラス、そしてコマンドをまとめたパッケージ群です。標準では提供されていないコマンドや、標準よりも簡潔なインターフェースを実現するために試験的に開発されています。あくまで試験的なパッケージであり、当分の間安定版にするつもりはありませんのでご注意ください（コマンド名などの仕様変更が高確率で起こります）。

Versatyle パッケージは以下で構成されます。

- それ自身が提供するクラスファイル
 - `versatyle/cls/book` パッケージ
- 様々なコマンドを種類ごとにまとめたいくつかのパッケージ
 - `versatyle/math` パッケージ
 - `versatyle/table` パッケージ
 - etc.

Versatyle パッケージをインストールすることにより、クラスファイルとパッケージがすべて使えるようになります。Versatyle 文書クラスを用いて文書を作成すれば自動的に Versatyle が提供する様々なコマンドが使えるようになりますが、Versatyle 文書クラスを用いない場合でも、Versatyle パッケージに入っている特定のパッケージをインポートして用いることも可能です。なおファイル構成という意味では、`versatyle/math` パッケージもいくつかのファイルに分かれています。

1.1 バージョン履歴

Chapter 2

Versatyle 文書クラス

Versatyle には, 現在 book クラスのみが用意されています.

Chapter 3

Versatyle/math パッケージ

Versatyle には、数式を記述するためのコマンドを定義する `math` パッケージが入っています。現在は標準の `math` パッケージに足りない機能を補完するという意味合いが強く、標準のパッケージを完全に置き換えるものではありません。そのため

例えば以下のような数式を書くことができます。

$$y = x^2 + 1 \tag{3.0.1}$$

$$z = (x^2 + 1) \tag{3.0.2}$$

$$y = x^2 + 1 \tag{3.0.3}$$

$$y = x^2 + 1 \tag{3.0.4}$$

$$y = x^2 + 1 \tag{3.0.5}$$

$$y = x^2 + 1 \tag{3.0.6}$$

$$y = x^2 + 1 \tag{3.0.7}$$

$$z = (x^2 + 1) \tag{3.0.8}$$

$$y = x^2 + 1 \tag{3.0.9}$$

$$z = (x^2 + 1) \tag{3.0.10}$$

$$z = (x^2 + 1) \tag{3.0.11}$$